



## 新規現場のご紹介

5/9から新規スタートになった新築現場です。主に鉄鋼材の溶接・加工 販売を行う企業様です。営業所は広島に2ヶ所、生産拠点は、新島に2ヶ所、海外に1ヶ所ございます。  
 現在、日常清掃業務については、応接室・会議室・社長室等がある事務所棟と昼食・休憩で使用する食堂がある厚生棟、屋外トイレ3箇所の管理をしています。スタッフは2名体制で行っており、本社スタッフ・現地スタッフともお客様からのリクエスト等しっかり応えるよう連携し対応しております。  
 工場と隣接しているため、各清掃箇所は機械油等の持込による汚れが多く、日常の清掃が大変な現場ではありますが、新築現場ということもあり、綺麗な状態が維持できるよう、またお客様へ快適な空間を提供できるよう日々努めて参ります。

## 安全委員会より

安全衛生・品質協議会報告



6月27日（月）に本社3Fにて2016年度安全衛生・品質協議会を開催しました。今年協賛会社11社より14名、ピアサービス社員合わせ25名の参加となりました。  
 ピアサービスに於いても、この1年で自転車に関連した通勤災害が2件発生していることから、スタッフが事故の加害者にも被害者にもならないよう、今一度危険のポイントと安全ルールを見直そうとの思いで、明石警察交通総務係より講師を招いて交通安全講習を行いました。  
 安全衛生目標である「労働者災害・第三者災害ゼロ」を目指し、今年はその重点施策として「ヒューマンエラーによる繰り返し型災害を防止する」を掲げました。  
 作業前には正しい手順と動作を確認し、作業の切替や予定変更時には手順を再確認するよう心掛けてください。  
 無理な作業、無理な体勢、無理な時間配分は禁物です。

今年の夏も猛暑が予想されますが、くれぐれも熱中症には注意して健康管理を行ってくださいね。それではご安全に！

## 総務部より

自転車事故及び保険について

安全委員会の記事にも記載してあります通勤災害（出勤途中や帰宅途中）自転車事故について、2件発生しました。

- ・自転車（スタッフ）対車両
- ・徒歩（スタッフ）対自転車

両方とも被害者側になった災害でした。しかし、2件目は加害者側が自転車であり、皆さんの中でも自転車での通勤もしくはプライベートでも自転車に乗られる方はたくさんおられると思います。交通安全講習の中でも、自転車は軽車両であり、車と同様に加害者側になることは十分あり得ると説明がありました。また、兵庫県の条例で平成27年10月1日より自転車保険の加入義務が施行されています。

ピアサービスとしても法令順守に基づき、今後、車・バイク通勤の方への自動車任意保険証券写しの提出と同様、自転車通勤の方にも保険加入の確認・保険証券写しの提出をお願いしていきますので、対象になる方は加入をお願いします。

保険加入について、車をお持ちの方は任意保険にも付加することができます。また会社で取り引きの保険会社でも取り扱いをしておりますので、お気軽に総務部までお問い合わせ下さい。

## 改善提案委員会より

平成27年度活動報告

平成27年度の改善提案におけるご報告。

年間300件を目指し、各スタッフ様からは大変貴重な提案を頂戴したことを感謝申し上げます。

結果は、残念ながら245件（達成率84%）となりましたが、今年度も同様に300件を目指して頑張りたいと思いますので、是非、皆様からの現場の生の声をお聞かせ下さい。

また平成27年度の表彰者は、優秀提案賞として、明石市内の某ビルにて従事して頂いています池田政司様（写真上）と有料老人施設にて従事して頂いています清掃スタッフの皆様（写真下）を表彰させて頂きました。

池田スタッフに関しては、顧客の目線に立った提案であり、且つ、その提案内容が当社の売上に貢献した内容を多く頂戴したことが表彰理由です。

有料老人施設の清掃スタッフの皆様に関しては、この「ぴあだより」でも紹介させて頂いた通り、今年の1月からピアサービスで従事して頂いているにも関わらず、（取引開始から実質3ヶ月間）18件の提案を頂戴し、スタッフの皆様の非常に前向きな姿勢が表彰の理由となっております。

冒頭に申し上げた通り、今年度も300件の改善提案を目指しておりますので、是非、ご協力の程、宜しく御願い致します。



## 品質委員会より

平成27年度活動報告

「インスペクション」（自主点検）

インスペクションとは、作業品質などを第三者の視点で検査・点検するもので有効な清掃作業が実施されているかどうかを調査します。インスペクター（点検者）が現場を訪問し、不具合があれば改善箇所を指摘した上で、改善方法を指導する仕組みです。

インスペクション実施件数 22件

日常清掃・定期清掃の自主点検を実施しました。

日常清掃ではトイレの洋便器、便座周辺の兆番部分のホコリの清掃忘れが目だっていました。



「不適合サービス」不適合サービス及び水平展開

平成27年度の不適合発生件数は12件

年々減少の傾向にあります。

発生の中でも定期清掃時の破損の事故が多く発生しています。その大半の原因が人的な要因からの発生でした。

「今までこうだったから...」

「大丈夫と思って慎重にならなかった」と言った思い込みや勘違いから破損事故が発生しています。

「再発防止対策」

誤廃棄防止シール作成と活用

日常清掃現場でお客様の大事な書類をゴミと間違えて処分する不適合サービスが発生した事から誤廃棄防止シールを作成し、専用部のゴミ箱回収を行っている現場に配布し活用する事で同類の不適合サービスの発生防止を行いました。

## 近江商人と「三方よし」

2016年 7月26日  
ピアサービス 株式会社  
代表取締役 岸本 吉充

皆さん こんにちは！お元気ですか？

皆様お一人お一人が、「誠意と努力（注釈1）」によりそれぞれの持ち場（職場）で果たすべく役割・責務に日々真剣（一生懸命）に取り組んで頂いているお蔭で、わが社は一步一步ではありますが、力強く前進していることが実感出来ることを心より感謝申し上げます。

梅雨明けと同時に猛暑日が続いておりますので、水分補給を小まめに行い、体調管理に努めて頂きますようお願い申し上げます。

さて、今回は、先月私がJTBの企画で滋賀県東近江市にある近江商人博物館や近江商人屋敷群（国の重要伝統的建造物保存地区）を見学してきた事をお話させて頂きたいと思います。

皆様ご存知の通り、わが社の行動指針「四方よし」の原点は、近江商人の「三方よし」にあり、その原点をもっと詳しく学びたいと思い実際に現地に足を運んでみました。

博物館に保管されている近江商人の商法、家訓には、ただ単にお金儲けの秘訣や技術が記されているのではなく、代々の当主が子孫に信用や信頼の重要性、勤労や勤勉の大切さ、そして質素儉約など、いつの時代にも人として必要とされる基本的なことが書かれていました。

また「三方よし」という表現は歴史用語ではなく、近江商人研究者達が昭和になってから分かりやすく標語化したもので、商いの精神を端的に表した造語だそうです。

近江商人が目指した商いの姿がよく表現されています。

「三方よし」の売り手よし、買い手よし、世間よしは近江商人の商人道を象徴する言葉で、売り手と買い手の双方のみの合意だけではなく、行商先を含めた世間に利益を提供すること、すなわち世の中から求め必要とされる正当な商いを心がけることを言い表しています。

近江商人は社会的責任と使命を果たすことに商人としての自覚と誇りを感じていました。

一例では江戸時代には、成績優秀、永年勤続、のれんわけ制度の仕組みの確立や、年2回の決算期に純益の3分の1を従業員に分配する現在のボーナス制度を取り入れたり、江戸中期には複式簿記を確立させたり、従業員のやる気を引き出す従業員教育に力を入れていたそうです。

この近江商人の流れを汲む会社は大丸、高島屋、セブングループ、トヨタ、東レ、日本生命、丸紅、武田薬品、ヤンマーetc数えきれず、伊藤忠商事では毎年150名以上の新入社員が創業家の家で教育を受けると聞きました。

わが社の「四方よし」は近江商人の卓越した経営感覚と倫理観の「三方」に商いの中心になる従業員の働きがい、物心両面の幸福の追求という、もう「一方」が加わっています。

ピアサービスに関わる全員がこの「四方よし」の精神を大切にし、「誠意と努力」の力でお客様から選ばれる会社に成長していくことを心より楽しみにしております。

注釈1 ピアサービスは、企業理念として「誠意と努力により活力とゆとりのある豊かな人間環境創造の為貢献する。」と掲げております。